

平成27年10月定例教育委員会 会議録

- 1 開催期日 平成27年10月28日(水)
開会 午後 1時57分
閉会 午後 2時58分

- 2 開催場所 役場 2階 会議室

- 3 出席者名 委員長 諸 橋 志津子
委員 不二井 悟 史
委員 宮 下 静 子
委員 原 田 光 雄
委員(教育長) 布 施 東 雄

局長 岡 本 伊佐夫
次 長 荒 木 秀 人
係 長 朝 倉 恵 子

4 議 件

報告第38号 穴水町文化財保護審議会からの答申について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長から穴水町PTA研究大会及び穴水町少年の主張大会、豊かな心を育む町民大会についての報告、全国町村教育長理事会についての報告、各学校の予算要望についての報告、県教委の穴水中学校、穴水小学校訪問についての報告、穴水中学校の公開授業研究会についての報告があり、会議録署名員に原田委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、報告第38号について説明があり、質疑応答が行われ、承認されました。

次に、11月の定例教育委員会の開催期日を11月24日(火)午後2時と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

10月 定例教育委員会議事録

－ 委員長挨拶 －

穴水町 PTA 研究大会及び穴水町少年の主張大会、豊かな心を育む町民大会等、大きな行事が終わり、次は学校における研究発表会かと思えます。またよろしく願いいたします。

本日の新聞を見ますと、岩手県矢巾町のいじめを受けて、いじめ件数調査の再調査を行った結果、やり直し前の結果に比べ、3万件増加したということです。都道府県によっていじめの認識が大きく異なる実態が改めて浮き彫りになり、それぞれの認識の違いによって増える減るがあるのではないのでしょうか。そこで、文部科学省は、次のようなコメントを出しています。

いじめにカウントするかどうかの判断その1 『体育のバスケットボールでミスをした A 君に対して B 君が皆の前でばかにした。A 君はとっても嫌な思いをしたが、他の友だちが「かわいそうだよ。」と声を掛けてくれた。それ以来 A 君と B 君にトラブルはなく、昼休みに一緒にバスケットボールをする A 君と B 君の姿が見られるようになった。』

これを“いじめ”とするかどうか、意見が分かれましたが、文部科学省は、これを“いじめ”としています。石川県はいじめが少なくなっていると言いつつも、それぞれの学校には心の問題を持つ子どもたちがいます。

先日、薬物依存し、NPO を立ち上げた方の講演を聞きました。

ドロップアウトしたのは学校の中のいじめ、小学校でのいじめで、プラスアルファ勉強がわからないこと。薬物に手を染めたのは原因がどこにあったかという点、家庭の中でした。煙草も、酒も、家の中にある。家庭の中から薬物依存が始まりました。

薬物教育はどこでも行っていますが、深刻な事例を知らしめられました。

私たちはどこに視点を当ててみるのか、子どもたちの表情や子どもたちの動きに対して対応していかなければなりません。

本日は、いじめ防止基本方針策定協議会の立ち上げにつきましても事務局より説明があるかと思しますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

－ 教育長報告 －

19日に各学校を訪問して、28年度の要望を伺ってきました。委員の皆さん、ありがとうございました。

穴水町 PTA 研究大会、穴水町少年の主張大会、豊かな心を育む町民大会は、午前中いっぱいかかりましたが、委員長の講評にもありましたように、大変感動的で心打たれる場面が見られ、発表の態度や声の大きさ、発表の表情が、随分力がついてきて、良くなってきているように思いました。原稿を持って上がっていても、自分の言葉で発表する児童生徒が増えてきました。

16日には、全国町村教育長会理事会に行ってきました。今年度の反省事項、来年度の総会に向けて話し合われましたが、文部科学省の概算要求ができ、財務省が、いじめ事件以来4万人の生徒指導の加配をしたが、いじめは減っていない、学力も上がっていない、ということで、将来児童生徒が激減すると、加

配は引き上げる、1年生の学級を40人に戻す、成果の上がないものは減らすというのが、財務省のスタンスということです。文部科学省はもちろん反対です。

小中一貫校やコミュニティスクール、小中一貫校にして教員の数を減らす、地方交付税も下がる中で文部科学省は昨年を上回る要求をしています。

また、学校訪問での各学校からの要望は、どれもしてあげたいのですが、町財政もシーリングがかかっており、昨年度より少ない予算でやり取りにかかります。のちほど委員の皆さんと、昨年同様に、首長にお話する場を設けたいと思います。

そんな中で先日、県教委学校指導課より電話があり、穴水中学校と穴水小学校を訪問してほしいということでした。穴水中学校の学力が上がっている、ほとんどの生徒が1時間以上家庭学習をしているのは何をしているのか、また英語の成績がたいへん良いとのことでした。その後、穴水小学校へ訪問されていき、早速齋田次長よりお礼状が届いていました。

穴水中学校では、ワーク学習をさせており、『毎日、家で復習をしていますか。』という質問には、穴水中学生は20ポイント低いので、生徒はワーク学習は復習とは思っていないのだろうということです。英語の成績については、英語支援員の力が大きいと思います。

30日午後に穴水中学校で「学びの組織的実践推進事業」の公開授業研究会を行います。初年度ですが、やってみたいということで、奥能登全域の拠点校の先生方に来ていただき、やることとなりました。講演会には、東京学芸大学の西村圭一准教授に講演いただきますので、よろしくお願いいたします。

諸橋委員長 ありがとうございます。

委員の皆さん、何かありませんか。

— 議事 —

事務局 報告第38号について説明

穴水町文化財保護審議会からの答申についてです。

9月28日に穴水町文化財保護審議会が開催され、穴水町無形民俗文化財の指定に、鹿波の三十三番相撲と、宇留地の虫送り神事が該当する旨、答申するものです。

どちらも江戸時代から続く伝統行事で、昨年からの継続審議です。無形民俗文化財は、有形とは違い、人が伝えるもので、指定することによって、地域の活性化にもなります。本年、「能登のキリコ祭り」が日本遺産に認定されたこともあり、地域の活力、また地域のひとりひとりがふるさとに愛着を持つということで、ここで答申させていただきます。

諸橋委員長 皆さん、別紙をご覧ください。

ウンカというのは、田んぼを作っているからウンカの祭りがあるのですよね。田んぼが無くなるとこれも無くなるのですよね。

事務局 諸橋村史を見ても、無くなったものがいくつかあります。

相撲も他にもありましたが、皆無くなりました。江戸時代からあったのを文書で確認できるのは、すごいことだと思います。認定することによって、地域がもう一度頑張ろうという気持ち

になることがよいのではないのでしょうか。

教 育 長 土俵はどこにあるのですか。

事 務 局 長 白山神社の境内にあります。

(途中省略)

荒 木 次 長 「昔、白山神社に大蛇が棲んでおり、この大蛇を何とか退治しようと次々と村の力自慢が挑んだけれど敵わず、三十三人目にしてようやく大蛇を退治出来た」という故事から始まったといわれ、三十三番目の取組の勝者が大関となる慣わしとなっています。また、大関になれば、村の中で「一人前」の若者として取り扱われることとなり、親戚や友人達が祝い酒を持ってかけつけ、深夜まで祝宴が続けられます。この度に指定していただき、もう一回頑張ろうと話合いました。

事 務 局 長 元々は、成人の通過儀礼だったと思います。

諸橋委員長 逆の発想で文化財を見直してみることは大切ですね。どうせ人が居なくなるのだからではいけません。

事 務 局 長 ふるさと教育にも繋がります。下唐川の盤もちと、少し違いますが、発想的には同じと思ってください。

原 田 委 員 大変いいことですし、地域の繋がりにもなります。維持することは大変ですが、続けてほしいし、子どもたちに残して行ってほしいです。
ウンカが稲につくの追い払うのは、それは大変なことだったと思います。
私たちの小中学生にも伝えていきたいし、ボラ待ち櫓も同じですが、新たに作るのは大変ですが、古くからあるものを残して行ってほしいです。

不二井委員 他にはどのようなものがあるのですか。

事 務 局 長 たたかもそうですし、まだらもそうです。また、木原の鯖踊りも無形民俗文化財です。

教 育 長 あえのことは。

事 務 局 長 奥能登のあえのことは、国指定の無形民俗文化財です。あえのことも少しずつ変わってきているとは思いますが。

諸橋委員長 合鹿のとは、ちょっと雰囲気違いますね。

宮 下 委 員 指定されると、町から補助が出るのですか。

事務局長 残念ながら、今のところ名誉だけなのです。穴水遺産という話が出ていましたが、何か出来れば良いと思うのですが。

教育長 無形文化財は、少しは補助してあげられれば良いのですが。

原田委員 地域の名誉ではありますが。

教育長 宇留地にも子どもがいなくて、町から行っています。

諸橋委員長 では、その他です。

(途中省略)

諸橋委員長 次に11月の行事予定です。

荒木次長 11月行事予定について説明

原田委員 穴水中学校の学校公開はいつですか。

朝倉係長 5日です。防災教育の講演会があります。

諸橋委員長 では、次回の定例教育委員会の日程を決めましょう。

(日程調整)

諸橋委員長 では、10月24日(火)午後2時から行います。
いじめ防止基本方針策定協議会について、事務局、お願いいたします。

荒木次長 いじめ防止基本方針策定協議会の件について、県教委よりお話がありました。19市町中、半数は策定済みで、残りの市町も協議会を立ち上げるということで、法律の中では努力義務とありますが、対処していかなければならないと思います。本年度中には、協議会を立ち上げていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

宮下委員 「おはよう」の放送のことですが、25日に放送が入りましたが、日曜日は放送がないはずではないのでしょうか。また、25日は「エコクリーンの日」とはいるのではないのでしょうか。

事務局長 入力を間違えたのかと思います。申し訳ありませんでした。

諸橋委員長 以上で、定例教育委員会を終わりたいと思います。

穴水町教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）第 15 条第 2 項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員（教育長）
